

SORA

web magazine 2015.jul. vol.58

Travel

PHILIPPINES MOALBOAL

モアルボアルの3日間

MAP
CLICK!

PHOTO & TEXT : YASUAKI KAGII

フィリピンの田舎町でありながら、古くからヨーロッパ人に好まれたモアルボアル。フィリピンらしさの中に少し洗練されたテイストを感じる。海は、ベスカドール島をはじめ、イワシポイント、極上サンゴポイントなどがラインナップ。海と町全体にゆったりとした時間を感じるモアルボアルで過ごした3日間。

tsumi-shima tsumishima.com
ダイバーの夢をつみあげていく島



(株)ワールドツアープランナーズ
www.wtp.co.jp

© 2015
World Tour Planners Co., Ltd.
All Rights Reserved.



1日目の1ダイブ・ペスカドール島、サウスポイント

PHILIPPINES
MOALBOAL
Travel

朝7時に朝食。ダイビングセンターとダイバーズロッジ・ブルメリアの共用ダイニングにて、ローカルのお母さんの手作り。ご飯、甘いお肉、卵焼き、漬物を美味しく頂く。そして、8時からダイビングスタイルやボートの説明を受け、8時半頃に出航。ダイビングセンターの前からダイビング用のバンカーボートは出るのだが、ボートまで海岸線が整備されていて、以前よりもアクセスしやすくなった。1ダイブ目に向かったのはペスカドール島。ボートで20〜30分。お天気も良く、穏やかで、海面を滑るようにボートは走っていく。エントリーしたのはサウスポイント。バックロールでエントリーした後、目に飛び込んできたのは、極上のサンゴ礁。足の踏み場もないくらいにびっしりと群棲している。ドロップオフに向かって泳いでいくと、無数の紫の点が見える。パープルビューティーの群れ。接近したら、周囲を囲まれた。まるで紫色の夢の中にいる感じ。撮影をして、少し水深を下げると、オレンジや黄色のソフトコーラルが現われる。その上には、メラネシアンアンティラスがたくさん群れている。水深12mほどの、一番賑やかなリーフの上を撮影する。着底禁止の島だけあって、本当に手付かずの自然が残っていた。





1 日目の2ダイブ・ゴビーポイント

あるカタログの表紙撮影も兼ねて、ベスカドール島を離れてゴビーポイントまで。下が浅瀬の砂地なので、水面が心持ち明るい。その光を使用して、ダイビングの合間に撮影。チキチキダイバーズのスタッフの皆さんが素敵な笑顔を見せてくれた。約1時間ほど休憩して、2本目はゴビーⅡへ。昨年の12月に台風が接近した際に、大量の土砂が流れ込んだそうで、少し生物層が変わっていたが、それでもたくさんの生き物をガイド・ユヌスが教えてくれた。ゴールドスベックジョーフィッシュ、ストライプドドワーフゴビー、ウミウシなどなど。紹介してくれた中で撮影できなかったが、珍しいテールスポットゴビーと黄化個体のギンガハゼ…。すぐに逃げられた。水深10mくらいをゆっくりダイビングしていく。マクロを中心とした生き物観察ダイブだった。

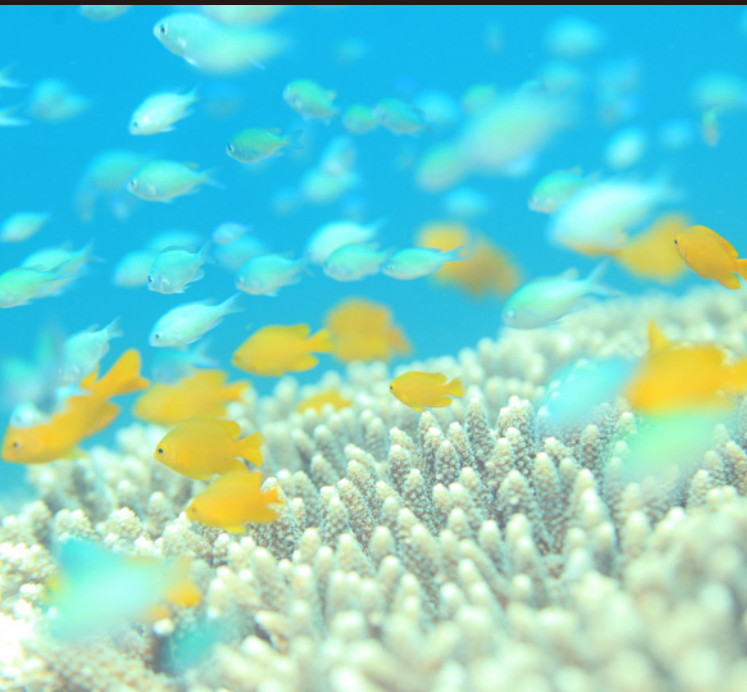


1日目の3ダイブ

朝食と同じようにお手製のランチを食べて、お昼休憩。午後1時半にブリーフィングを開始して、2時前には出航。向かった先は、ボートで4分ほどのホワイトハウス。目的はサンゴ礁とその上に群れる熱帯魚たち。ガイドの美香ちゃん曰く、「マンゴーがトッピングされたウエディングケーキがあります!」ということ。実際に潜ってみると、なるほど〜、大きなテーブルサンゴの上に、マンゴーのようなネットアイズメダイがこんもり、その周囲にはデバズメダイが群れていて、なんととても爽やか、いや美味しそう〜! 美香ちゃんお薦めのメインのテーブルサンゴを撮影して周遊。他に、重なり合うサンゴなど、美しい造形のサンゴがたくさんあって、なかなか見所がたくさん。一緒にもぐったフォト派ダイバーも「癒された〜!」とエキジット。これまでのゲストの中にも、このポイントでのんびりと終わりたいという方も。ワイドでもマクロでもサンゴの写真がとても良く撮れる素晴らしいポイントだった。



PHILIPPINES
MOALBOAL
Travel



1日目の4ダイブ イワシポイント

初日の最終ダイブは、あのイワシポイントへ。約2年ほど前から、チキチキダイビングセンターの前で見られる奇跡のイワシ玉。ボートで移動して約1分。ポイントの中では、一番身近なポイント。エントリーしてその姿を探す。少し透明度が悪かったが、水中が暗くなったかと思うと、イワシの群れに囲まれていた。そして、まるで雲や龍のように海中で蠢く。時期によってイワシの量は変わる。今年は昨年よりも少なかったが、それでも、十分にモアルボアルの海のすごさを教えてくれた。





2日目の1 ダイブ・トンゴサンクチュアリ、サウス

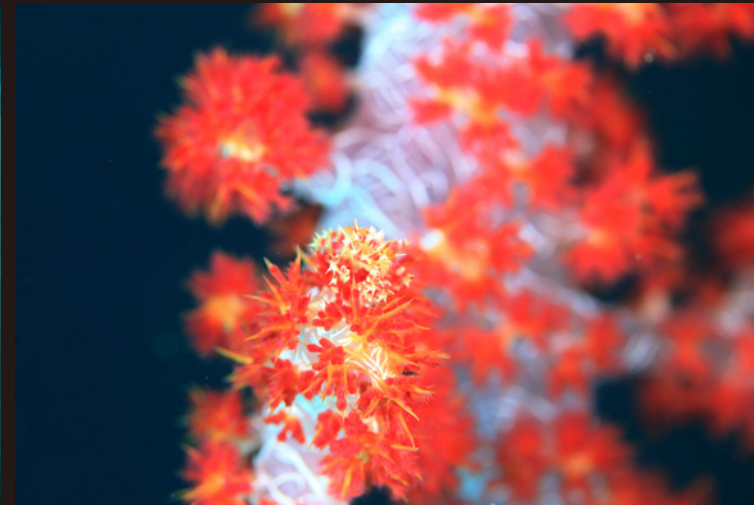
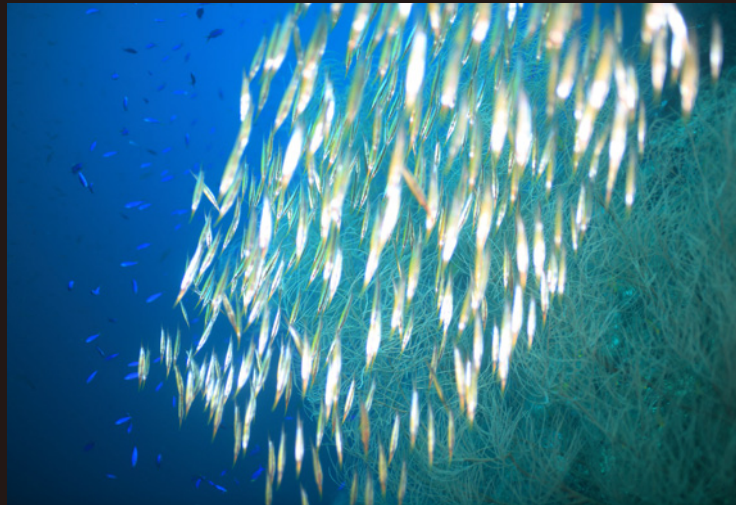
2日目の朝も7時から朝食。メニューはチキンのお粥。ショウガも入っていて、とても美味しい。8時に集合して、ブリーフィングは梨沙さん。こんなにのんびりでも良いの?と思うくらいのにびりとした朝の説明。その後、ボートに乗り込んで向かった先は、ボートで7分ほどのトンゴサンクチュアリへ。ポイントはサウスとノースに分れていて、今回はサウスを選択。エントリーしてすぐの所に美しいサンゴの群棲があるので、まずはそこに。とって海中

を見渡したが、どのサンゴもとてもきれい。種類も豊富で、少し「奇跡」という言葉も浮かんだ。朝一番のダイビングだったので、水面から差し込む光も綺麗で、サンゴの造形の面白さをより強調している。マクロの生き物も他の地域では少ないテールスポットプレニー、3匹も集まっていたツースポットプレニーなどなど。ブルーウォーターにフィリピンの国魚であるサバヒーが群れていた。平均水深も浅く、リラックスして楽しむことができた。



2日目の2ダイブ・タリサイ

1時間ほど休憩して、次のポイントへ。2つくらいの隣のブイのタリサイへ。ここは様々な色のサンゴのコンビネーションがとても美しく、また「奇跡」という言葉を再び思い出す。まるでサンゴの宮殿のようだけど、ひとつひとつのサンゴが細く繊細なエダサンゴで出来ているので、どことなく儚い。少し深度を下げてみようかと30mまで。これと言った生き物には出会えなかったが、そのまま壁沿いに浮上すると、水深20m辺りから、白や茶、黄色のブラックコーラルの群棲を発見、そこにヨロイウオやパープルビューティー、ヤマブキスズメダイが群れる。浅瀬のサンゴ礁ばかりでなく、壁沿いの風景も面白い。抜群のサンゴ礁だけでなく、モラルポアルの色をたくさん見つけたダイビングだった。



2日目の3ダイブ・トグレサンクチュアリ

ダイビングセンターでランチを食べて、1時半から3本目のダイビングへ。向かった先はトグレサンクチュアリ。ここもサンゴが美しいポイントだけど、マクロの生き物に集中。キャンディーケインドワーフゴビー、バーチクダムセル、そして青いホヤがたくさんあったので、それとかわいいベニハゼと一緒に撮影したり、水深を上げたリーフトップでは、デバスズメダイの写真を。背景にサンゴが写るので、また一味違った作品に仕上がった。



3日目の1ダイブ ペスカドール島、カテドラル

8時過ぎに出航したボートは、一路ペスカドール島へ。1本目は、深度を取れるカテドラルへ。水深30mまで降りると、シーンとした青い世界。全ての色が失われ、太陽の光が微かに届く海底。ゆっくり呼吸するとこの世界に溶けていきそうな感じ。そして上を見上げると、黒い窓で縁どられた青い宇宙。カテドラルはそんなイメージ。そしてゆっくりと水深を上げ、メラネシアンアンティアスの群れの中に。1ダイブで静謐な時間と華やかな時間を共有できる、そんなポイントだ。

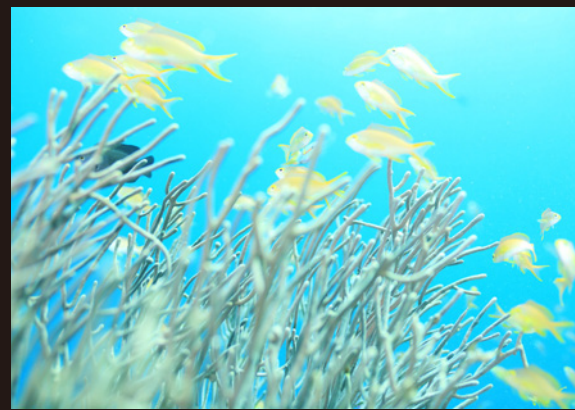


PHILIPPINES
MOALBOAL
Travel



3日目の2ダイブ ペスカドール島、イースト

リクエストはサウスだったけど、潮の流れが強かったので、イーストへ。ボート下のキャベツコーラルが美しく、その造形に見とれてしまう。リーフエッジに行き、メラネシアンアンティアスの群れとサンゴ、スリバチカイメン、他のカイメンとペスカドールの魅力をいっぱい閉じ込めた写真を撮影。そして、水深を落として、オーバーハングなどが連なる地形を満喫。サウスほど華やかではないが、所々に集まったメラネシアンアンティアスの群れを大切に撮影。最後は突然、現れたアオウミガメとランデブーし、浮上を開始した。



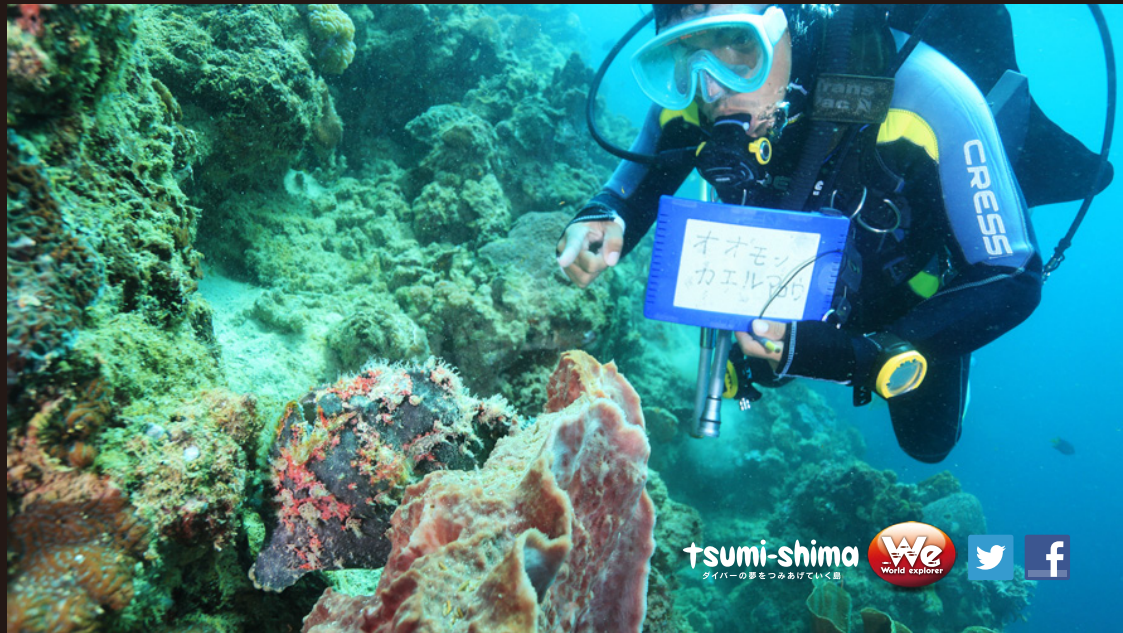
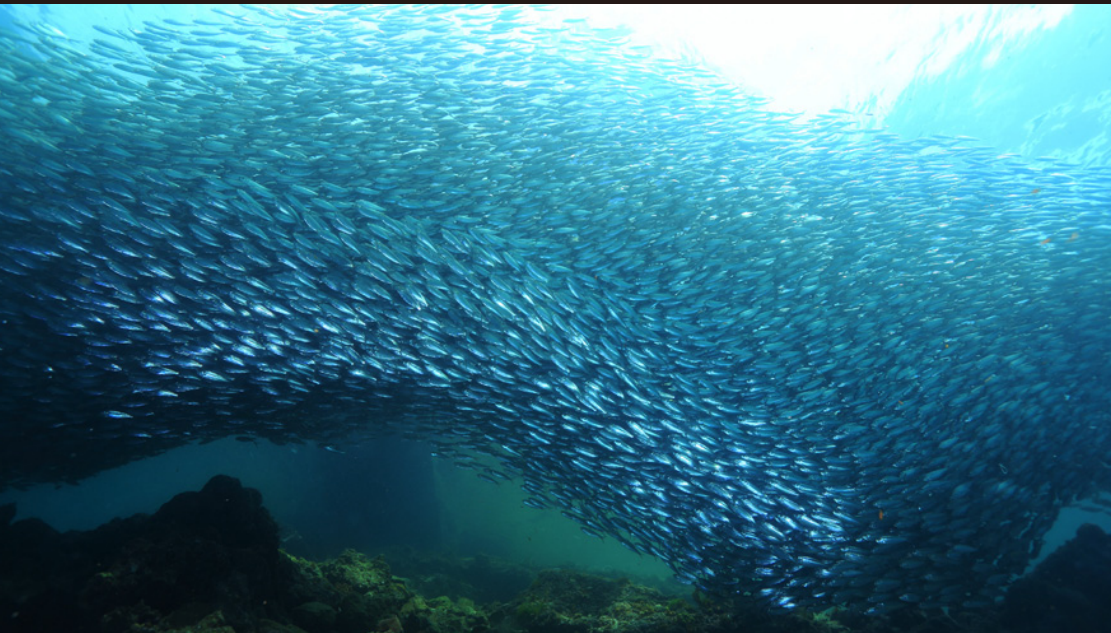
銀鱗の銀河世界へ誘う——

3日目の3ダイブ・イワシポイント

実は、2日前のイワシポイントでのダイビングは夕方近くということもあり、イワシが結構ばらけていた。ガイドの美香さんが、「午後一の方が群れていますよ!」と教えてくれたので、2時くらいにエントリー。水中に飛び込んだ瞬間から、2日前とは大違いであることが分った。イワシのトルネード、まるで大河のように延々と流れている。時折、その大きな

大河にぽっかりと穴が開く。すると小さな海藻が流れている。「どんだけ臆病なの?」と突っ込みたくなるが、それも生きていく習性なのでしょう。良く見るとイワシの糞がそこそこに浮いているので、透明度はあまり良くないが、昨年と同様に素晴らしい時間をイワシと共に過ごすことができた。

PHILIPPINES
MOALBOAL
Travel



4日目の4ダイブ・タリサイ

滞在中、一番気になったポイントを最後にリクエストした。ポイントはタリサイ。ちょうどポイントの中間あたりの水深10m~20mあたりにブラックコーラルが群棲している。ガイドの梨沙さんが「マイナスイオンがたっぷりでしょう～」と笑顔で教えてくれたが、それは、女子にしかわからない……と少し頭を悩ませた。それはさておき、この白や黄土色のコーラルにヨロイウオが群れたり、ヤマブキスズメダイやヒメゴンベが住んでいたりする。とてもフォトジェニックなポイント。浅瀬のサンゴも素晴らしく、カラフルなリーフフィッシュが舞っている。いつまでも潜っていたいポイントだった。



スタッフお薦めのレストラン

ラストフィリングステーション

イタリアンレストラン。石釜ピザの美味しいお店で、なかでもシーフードピザがー押し、自家製ハムを使った料理も人気。がっつり食べたい方は、蒸かしたジャガイモをヨーグルトに付けて食べる料理も大人気。



ランタウ

多国籍料理のお店。タイカレーがお薦めで、特にイエローがダイビングスタッフからのー押し。またキニラウという生魚をお酢でしめたフィリピン料理が、どのお店でも美味しいと評判。お酒のあてにも良い。



リトルコーナー

お薦めのフィリピン料理屋さん。モアルボアルの中でも一番おいしいと評判。お薦めは蒸しハタ（ハタは高級魚）。新鮮な魚介も選べるので、生きたイカをお刺身にでもできる。新鮮だからできるイカスミの Pasta も絶賛。



PHILIPPINES
MOALBOAL
Travel

tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく



チキチキダイバーズ

日本人経営の現地ダイビングサービス。オーナーの勝さん、梨沙さん、美香さん、ローカルガイドのユヌス、楽しいスタッフが揃う。到着のケアからアフターダイブまで。滞在中も旅をトータルで楽しんで欲しいので、ダイビング後の美味しいレストランにみんなを誘って行ってる。英語を話せない方にも安心。海が目の前なので、併設のリゾートもスタートし、色々と便利になった。目の前のビーチで朝7時半～5時まで潜り放題、無制限バディダイブを開始



ダイバーズロッジ・プルメリア

目の前が海、隣がダイブセンターという環境なので、とにかく楽チン。シービュールーム1部屋、スーペリアルーム1部屋、スタンダードルーム3部屋の合計5部屋で、アフターダイブに寛げるウッドデッキなどもある。温水シャワー、トイレ、エアコン、冷蔵庫、扇風機、無料Wi-Fi完備。宿泊ゲストは朝食付きで、1日2ダイブ以上のゲストは夕食もサービスで付く。



PHILIPPINES
MOALBOAL
Travel

tsumi-shim
ダイバーの夢をつまあげていく

